



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月31日

上場会社名 ニッポン高度紙工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3891 URL https://www.kodoshi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近森 俊二
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 関 雄介 TEL 088-894-2321
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	13,568	19.0	3,265	66.3	3,333	75.2	2,333	68.9
2021年3月期第3四半期	11,399	18.8	1,963	172.5	1,902	162.8	1,381	146.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,390百万円 (72.3%) 2021年3月期第3四半期 1,387百万円 (151.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	216.86	—
2021年3月期第3四半期	128.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	25,939	18,708	72.1
2021年3月期	25,025	16,600	66.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 18,708百万円 2021年3月期 16,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2022年3月期	—	15.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 12円 創立80周年記念配当 3円

2022年3月期 期末配当金（予想）の内訳 普通配当 12円 創立80周年記念配当 3円

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	9.9	3,700	34.0	3,700	32.3	2,600	29.6	241.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	10,953,582株	2021年3月期	10,953,582株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	191,917株	2021年3月期	197,027株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	10,759,953株	2021年3月期3Q	10,756,679株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、夏場に新型コロナウイルス感染再拡大やそれにとまなうサプライチェーンの混乱により足踏みが見られたものの、先進国を中心に回復が進展しました。わが国経済は、米国や欧州などの経済回復を背景に製造業での改善傾向が継続したものの、断続的な新型コロナウイルスの感染拡大により先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの関連市場であるエレクトロニクス業界におきましては、世界的な半導体の供給不足などの影響が自動車生産において見られましたが、自動車の電装化および電動化の進展や設備投資の回復などにより関連部品の需要が増加しました。

このような状況の中、アルミ電解コンデンサ用セパレータは、車載向けや産業機器向けを中心に好調が継続し、通信設備関連の需要も引き続き堅調に推移したこともあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,793百万円（前年同四半期比2,229百万円、26.0%増）となりました。

機能材は、リチウムイオン電池用セパレータが好調に推移したものの、海外における風力発電向けの電気二重層キャパシタ用セパレータが減少したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,775百万円（前年同四半期比60百万円、2.1%減）となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は13,568百万円（前年同四半期比2,168百万円、19.0%増）となりました。

利益面におきましては、原材料や燃料価格上昇の影響が見られ始めたものの、売上高の増加にとまなう稼働率向上および効率的な生産推進の取組みによる原価率の低減などもあり、営業利益は3,265百万円（前年同四半期比1,302百万円、66.3%増）、経常利益は3,333百万円（前年同四半期比1,430百万円、75.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,333百万円（前年同四半期比951百万円、68.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ913百万円増加し、25,939百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少、原材料及び貯蔵品の減少等がありましたが、受取手形及び売掛金の増加、商品及び製品の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,124百万円増加し、15,680百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の取得等がありましたが、有形固定資産の減価償却実施等により、前連結会計年度末に比べ210百万円減少し、10,258百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,194百万円減少し、7,230百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の純減、未払金の減少、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ547百万円減少し、4,432百万円となりました。固定負債は、長期借入金の約定返済等により、前連結会計年度末に比べ646百万円減少し、2,798百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当の実施、親会社株主に帰属する四半期純利益2,333百万円等を計上したことによる利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,107百万円増加し、18,708百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年7月30日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,578,740	4,091,772
受取手形及び売掛金	4,788,163	6,084,385
商品及び製品	2,118,056	2,483,426
仕掛品	104	—
原材料及び貯蔵品	2,889,872	2,727,517
その他	180,816	293,571
流動資産合計	14,555,754	15,680,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,625,760	2,577,091
機械装置及び運搬具(純額)	3,813,659	3,373,171
土地	2,038,476	2,049,144
建設仮勘定	421,796	778,809
その他(純額)	328,444	343,337
有形固定資産合計	9,228,137	9,121,554
無形固定資産	63,929	94,093
投資その他の資産		
投資有価証券	255,532	246,767
繰延税金資産	771,024	654,136
その他	172,110	163,235
貸倒引当金	△21,000	△21,000
投資その他の資産合計	1,177,666	1,043,139
固定資産合計	10,469,733	10,258,786
資産合計	25,025,487	25,939,460

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	362,853	452,095
短期借入金	600,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	964,964	856,614
未払金	1,107,362	997,093
未払法人税等	743,652	525,521
賞与引当金	—	130,800
設備関係未払金	484,891	412,282
その他	716,258	558,179
流動負債合計	4,979,982	4,432,585
固定負債		
長期借入金	2,251,861	1,621,915
繰延税金負債	18,459	27,809
退職給付に係る負債	1,159,032	1,133,376
その他	15,575	15,200
固定負債合計	3,444,928	2,798,301
負債合計	8,424,911	7,230,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,241,749	2,241,749
資本剰余金	3,942,071	3,947,090
利益剰余金	10,747,424	12,789,405
自己株式	△166,915	△162,791
株主資本合計	16,764,330	18,815,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,694	17,005
為替換算調整勘定	△124,435	△87,419
退職給付に係る調整累計額	△63,013	△36,465
その他の包括利益累計額合計	△163,754	△106,880
純資産合計	16,600,576	18,708,573
負債純資産合計	25,025,487	25,939,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	11,399,792	13,568,781
売上原価	8,156,713	8,784,154
売上総利益	3,243,078	4,784,627
販売費及び一般管理費	1,279,819	1,519,222
営業利益	1,963,259	3,265,405
営業外収益		
受取利息	1,336	4,750
受取配当金	6,207	6,326
為替差益	—	84,397
受取保険金及び配当金	9,491	2,498
助成金収入	30,552	740
その他	11,752	9,194
営業外収益合計	59,339	107,906
営業外費用		
支払利息	4,291	2,844
固定資産除却損	21,929	36,599
為替差損	92,628	—
その他	908	219
営業外費用合計	119,758	39,664
経常利益	1,902,841	3,333,647
税金等調整前四半期純利益	1,902,841	3,333,647
法人税、住民税及び事業税	393,406	883,335
法人税等調整額	127,691	116,899
法人税等合計	521,098	1,000,235
四半期純利益	1,381,742	2,333,412
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,381,742	2,333,412

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,381,742	2,333,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,458	△6,689
為替換算調整勘定	△40,669	37,015
退職給付に係る調整額	31,025	26,547
その他の包括利益合計	5,814	56,874
四半期包括利益	1,387,556	2,390,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,387,556	2,390,286
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、出荷時に収益を認識していた一部の取引については、約束した財の支配が顧客に移転した時点で収益を認識するように変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,844千円減少し、売上原価は7,512千円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,180千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は927千円減少しております。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間にかかる顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。この変更による影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは、「セバレータ事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社グループは、「セバレータ事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。